様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

平成３０年　６月２０日

秋田県知事　佐竹敬久　殿

提出者
住　所　　秋田県大館市二井田字羽貫谷地８番地７
氏　名　　ニプロ株式会社大館工場
常務取締役工場長　小林　京悦
電話番号　０１８６－４９－５１１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ニプロ株式会社大館工場
事業場の所在地	秋田県大館市二井田字羽貫谷地８番地７
計画期間	平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	医療用機械器具製造業（３２３１）
②事業の規模	４４７億２千６百万円（平成２９年度売上高）
③従業員数	１，５９５名（男子１，１８１名、女子４１４名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック　→焼却（サーマルリサイクル） 木屑　→焼却（サーマルリサイクル） 廃油（機械潤滑油等）→焼却

（日本工業規格　A列４番）

秋田県環境整備課
収受
30. 6. 25
D-08-　・　・
第　号

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(１) 管理担当部署	総務部総務課
(２) 総括管理責任者	総務部長　山形善人
(３) 各部署の管理責任者	各部長
(４) 教育・研修	発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項等について、従業員に適宜、教育・研修の実施及び文書通知等による啓蒙を図る。
(５) 情報公開	廃棄物処理に関する信頼性を確保するため、廃棄物の発生、分別、再生利用状況について情報の公開に努める。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成２９年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木屑	廃油
	排　出　量	２，９５７ｔ	２８ｔ	６４３ｔ
	(これまでに実施した取組) 原材料納入業者に対する指導（品質向上）及び、生産工程歩留まりの向上を図り、発生を抑制する。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木屑	廃油
	排　出　量	２，８０９ｔ	２７ｔ	６１１ｔ
	(今後実施する予定の取組) 環境に係る社会活動への積極的な参加等、工場における環境管理レベルの向上を図る。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック→医療機器及び医薬品の製造業であり、現状では再生利用は困難であるが、一部再利用について製造工程内で検討している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック→一部再利用

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（平成２９年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>１９０ｔ</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
シリンジランナーの再生利用</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>２００ｔ</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
シリンジランナーの再生利用</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（平成２９年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－	－
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－	－
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（平成２９年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木屑	廃油
	全処理委託量	２，７６７ｔ	２８ｔ	６４３ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	－	－	－
	再生利用業者への処理委託量	－	－	－
	認定熱回収業者への処理委託量	－	－	－
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－	－	－
	（これまでに実施した取組） 歩留まり向上による発生抑制や、分別の徹底による再生利用の増大により、処理量の減量を図る。			

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ</td><td>木屑</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>２，６２９ｔ</td><td>２７ｔ</td><td>６１１ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="2">優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生利用業者への
処理委託量</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）
環境に係る社会活動への積極的な参加等、工場における環境管理レベルの向上を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。